

# 福岡県における在留外国人の現状 (要約版)

2025年12月

公益財団法人 福岡県国際交流センター



# はじめに

2024年12月末現在における福岡県の在留外国人数は約11.3万人で、都道府県別では全国で9番目に多くなっています。福岡県の在留外国人数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時的に減少するも、全国平均を上回るペースで増加しており、この10年間で倍増しました。

国籍・地域別に見ると、以前は中国、韓国・朝鮮といった漢字圏出身者が多くを占めていましたが、昨今ではベトナム、ネパール等の非漢字圏出身者が増加するとともに、国籍の多様化が進展しました。

本資料では、このように量的拡大と質的多様化が進行する福岡県における在留外国人の現状についてご紹介します。

## <目次>

- 1. 在留外国人数 . . . . . P. 4
- 2. 国籍・地域別在留外国人数 . . . . . P. 5
- 3. 在留資格別在留外国人数 . . . . . P. 6
- 4. 年齢別在留外国人数 . . . . . P. 7
- 5. 市区町村別在留外国人数 . . . . . P. 8

# はじめに

## <本資料における用語の定義等>

- 本資料は、出入国在留管理庁「在留外国人統計」等の公的統計を基に福岡県の在留外国人の現状を説明する資料であり、特に断りのない限り、スライド中の説明文・図表は福岡県の状況について説明しています（基準日は各年12月末）。
- 「在留外国人」とは、就労や勉強のために日本を訪れ、中長期にわたり滞在する外国人をいいます。短期間で日本を離れる観光客などは含まれません。  
➡詳細は「在留外国人統計」の「用語の解説及び在留資格一覧表」をご覧ください。
- 本資料では、「在留外国人統計」の国籍・地域別在留外国人数に基づき「韓国」と「朝鮮」を合計して「韓国・朝鮮」と表示しています。なお、「在留外国人統計」では「朝鮮」は国籍を示すものではなく、朝鮮半島出身者及びその子孫等で、韓国籍をはじめいずれかの国籍があることが確認されていない者という意味で用いられています。  
➡詳細は「在留外国人統計」の「利用上の注意」をご覧ください。



出入国在留管理庁「在留外国人統計」はこちらからご覧いただけます。

[https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei\\_ichiran\\_touroku.html](https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html)

# はじめに

- 「在留資格」とは、外国人が日本に入国・在留して従事することができる活動又は入国・在留できる身分又は地位について類型化し、法律上明らかにしたもので、日本に在留している外国人にはいずれかの在留資格が付与されています。

➔詳細は出入国在留管理庁ホームページ「出入国審査・在留審査Q&A：Q18」をご覧ください。



出入国在留管理庁HP「出入国審査・在留審査Q&A」はこちらからご覧いただけます。  
[https://www.moj.go.jp/isa/immigration/faq/kanri\\_qa.html](https://www.moj.go.jp/isa/immigration/faq/kanri_qa.html)

## ◆主な在留資格◆

### 活動内容によるもの

教授	高度専門職	経営・管理	医療	技術・人文知識・国際業務
介護	特定技能	技能実習	留学	家族滞在 など

### 身分・地位によるもの

永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者
-----	----------	----------	-----

※1991年に施行された「入管特例法」に基づき、特定の歴史的背景を持つ外国人とその子孫に与えられる資格で、主に第二次世界大戦後に日本国籍を失った韓国・朝鮮人、台湾人とその子孫が該当する「特別永住者」は「在留資格」ではありませんが、本資料では便宜上「在留資格」に含めています（P.6参照）。

# 1. 在留外国人数 - 全国を上回るペースで増加 -

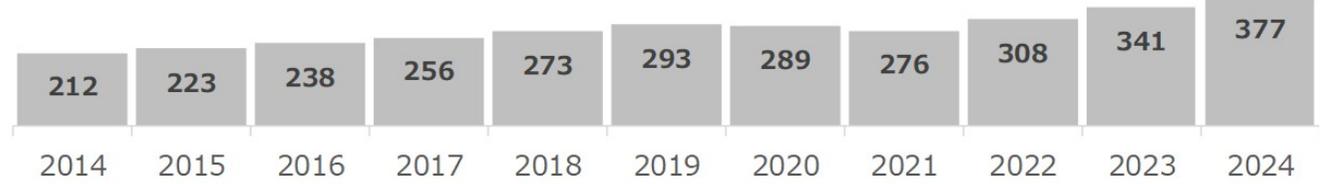
- 2024年12月末現在における在留外国人数は113,159人（前年比+13,464人）。県内総人口に占める在留外国人比率は2.2%となった。
- 在留外国人数は、全国を上回るペースで拡大しており、この10年間で倍増。
- 都道府県別の在留外国人数では、全国で9番目に多い。

## 在留外国人数及び対総人口比率の推移



(※1) 福岡県「住民基本台帳」を基に算出  
 (※2) WHOが2020年1月30日に新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言を発表、2023年5月5日に終了を発表

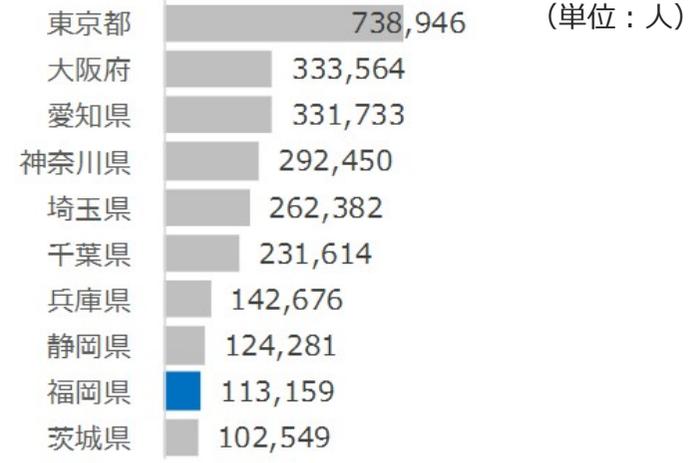
(参考：全国の在留外国人数推移) (単位：万人)



## 全国との比較



## <在留外国人数上位10都道府県 (2024年)>

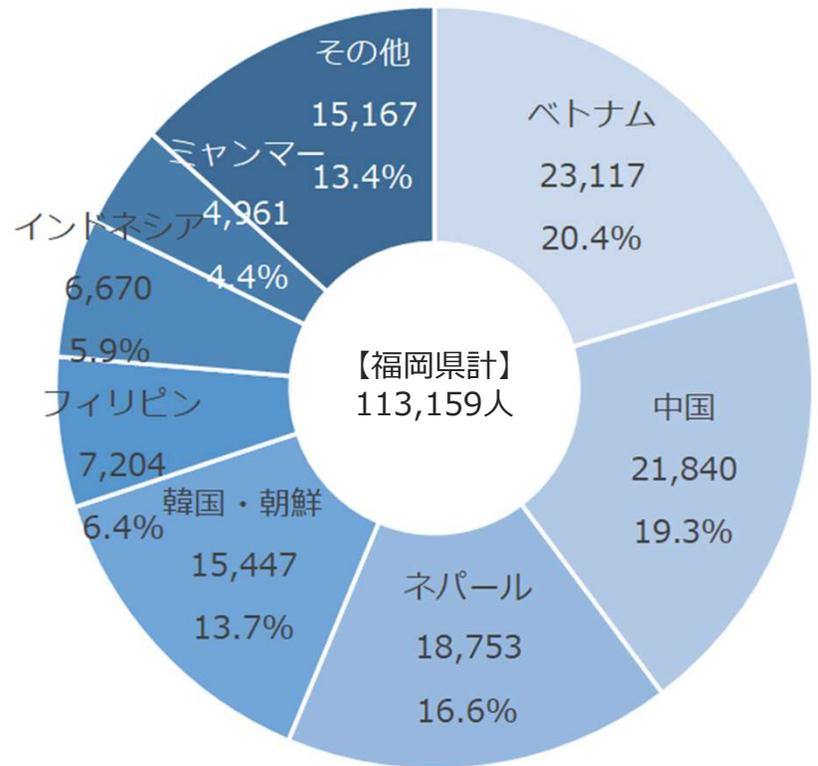


## 2. 国籍・地域別在留外国人数 - 進む多様化 -

- ベトナム（23,117人）、中国（21,840人）、ネパール（18,753人）が上位を占める。
- この5年間で、ミャンマーが約4.7倍、インドネシアが約4倍、ネパールが約2.5倍と急速に増加する一方、韓国・朝鮮は減少。

### 国籍・地域別在留外国人数

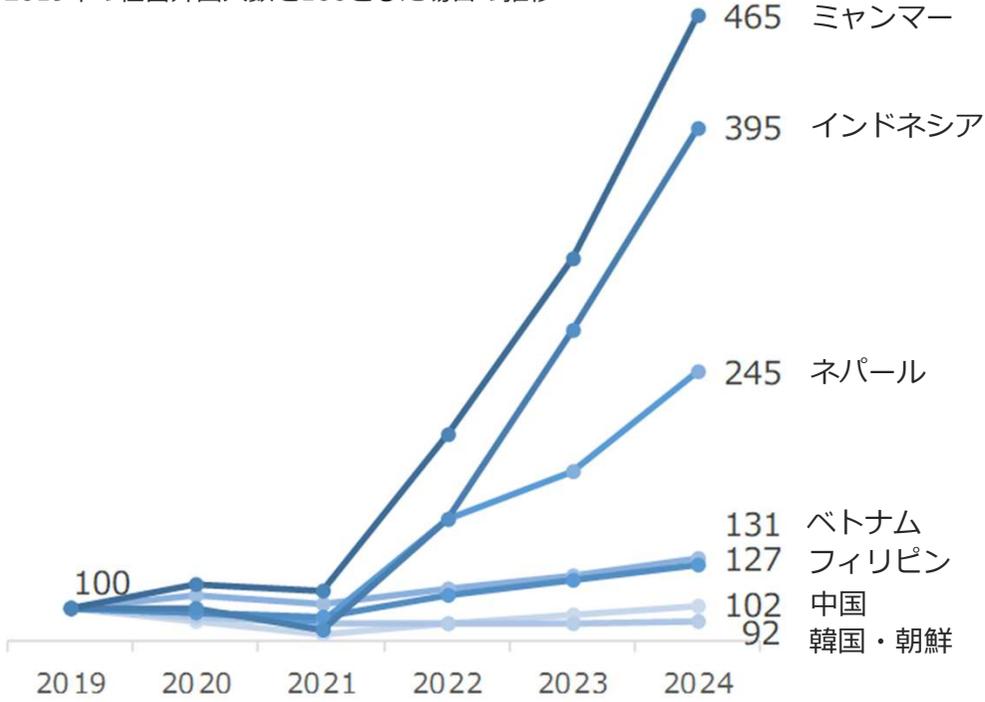
(単位：人)



<基準日：2024年12月末>

### 国籍・地域別の推移

※2019年の在留外国人数を100とした場合の推移

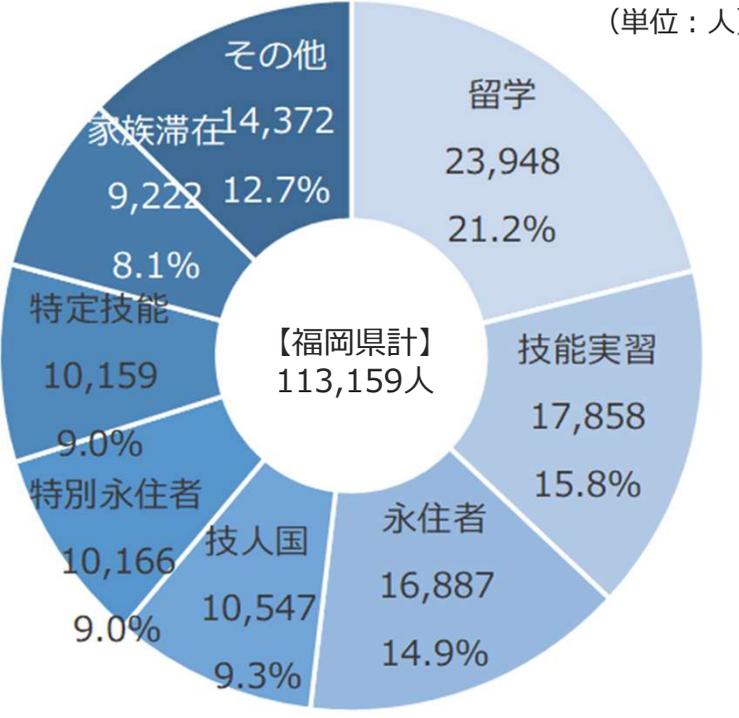


(※) 2024年12月末現在における国籍・地域数は156（2014年同月末比+19）となり、国籍・地域の多様化が進展

### 3. 在留資格別在留外国人数 - 全国でも上位の「留学」 -

- 「留学（23,948人）」が最も多く、「技能実習（17,858人）」、「永住者（16,887人）」、「技術・人文知識・国際業務（以下、「技人国」）（10,547人）」、「特別永住者（10,166人）」等が続く。
- 全国平均と比較すると「留学」の構成比が高く、「永住者」の構成比が低い。
- 「留学」の在留資格者数は全国の都道府県で3番目に多く、「留学」が多いのは県内在留外国人の特徴のひとつとなっている。

#### 在留資格別在留外国人数



<基準日：2024年12月末>  
 ※本スライド中の全て当該基準日

#### 全国との比較

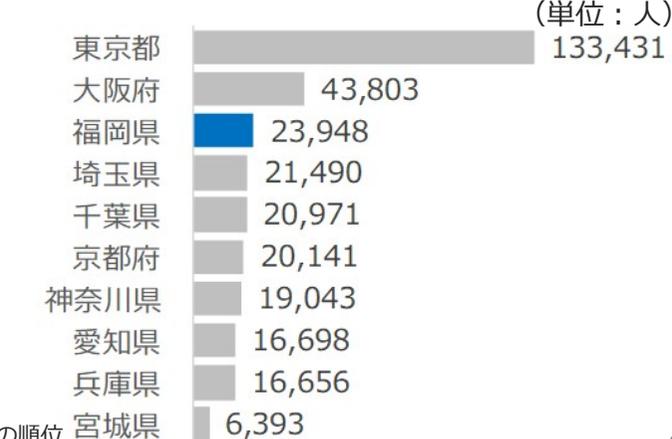
##### <在留資格の構成比>



##### <都道府県別の順位等>

在留資格	順位	構成比
留 学	3位	6.0%
技 能 実 習	7位	3.9%
永 住 者	13位	1.8%
技 人 国	8位	2.5%
特 別 永 住 者	7位	3.7%
特 定 技 能	9位	3.6%
家 族 滞 在	8位	3.0%
全在留外国人 (113,159人)	9位	3.0%

##### <「留学」の在留資格者数上位10都道府県>



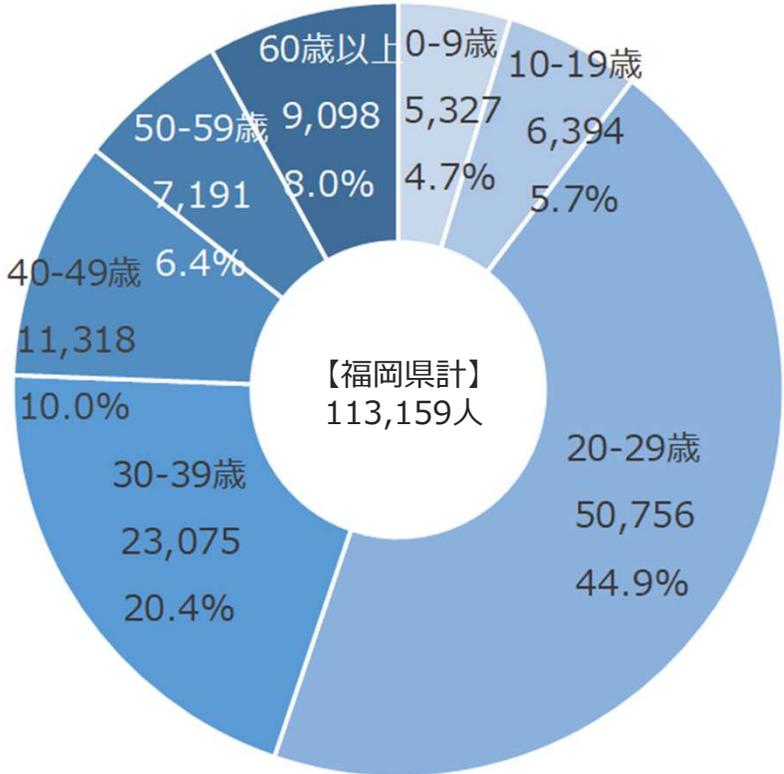
順位：当該在留資格者数の多い都道府県順にした場合の福岡県の順位  
 構成比：福岡県内在留資格者数が全国の当該在留資格者数に占める割合（出所：出入国在留管理庁「在留外国人統計」）

# 4. 年齢別在留外国人数 - 急増・急伸する若年層 -

- 年齢別では、20代（50,756人）、30代（23,075人）、40代（11,318人）が上位を占める。
- 20代が県内在留外国人に占める割合は44.9%で、全国平均の33.1%よりも11.8pt高く、若年層が多いのが県内在留外国人の特徴のひとつとなっている。
- 20代、30代の在留外国人が10年間で倍増。特に30代は全国平均を大きく上回るペースで急増。

## 年齢別在留外国人数

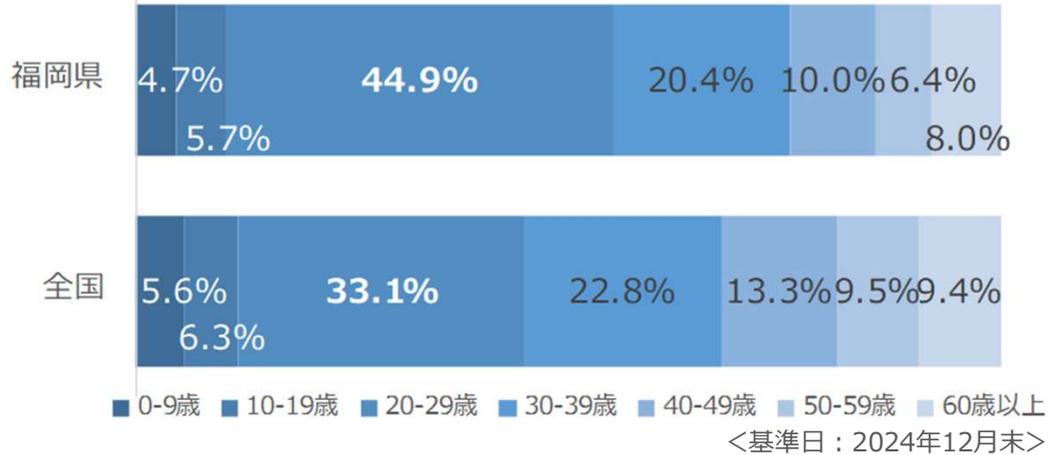
(単位：人)



<基準日：2024年12月末>

## 全国との比較

<年齢別構成比>



<20代・30代の推移>

※2014年を100とした場合の推移



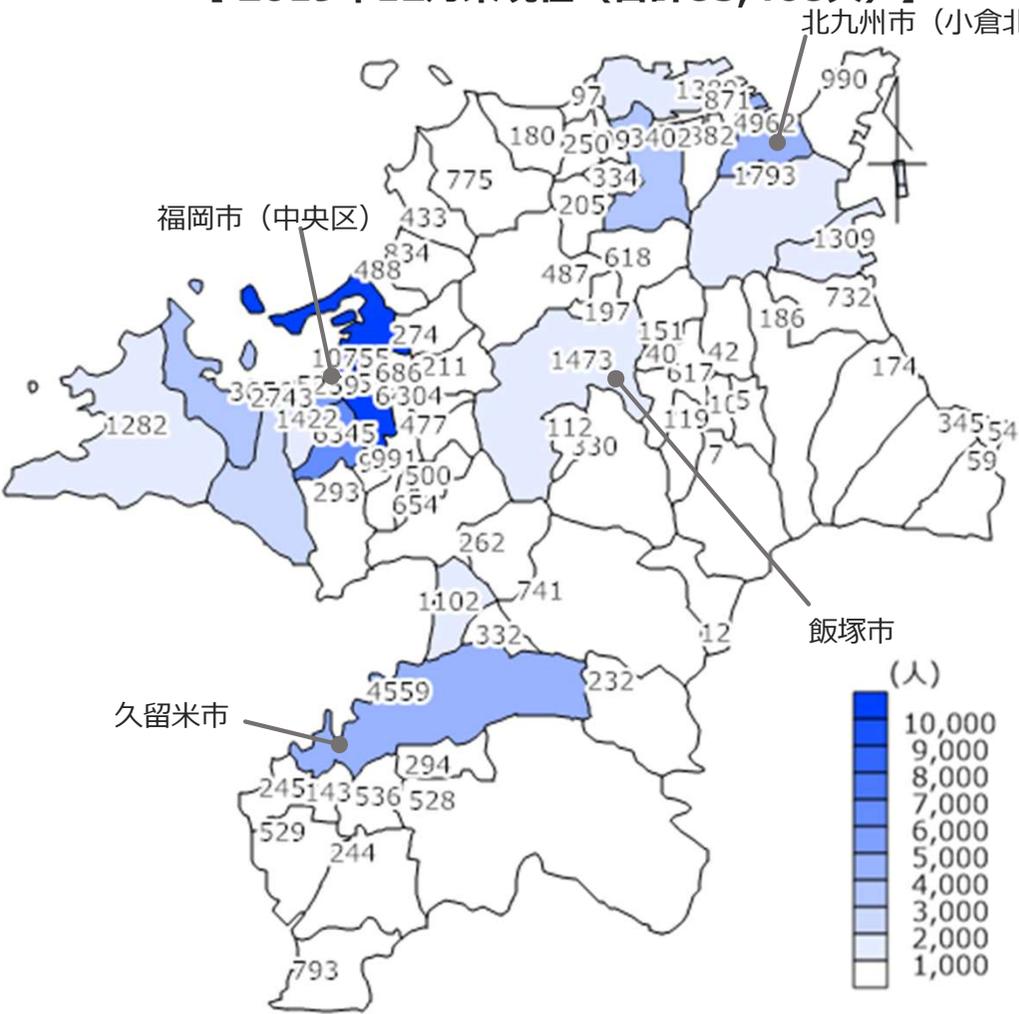
(出所：出入国在留管理庁「在留外国人統計」)

# 5. 市区町村別在留外国人数 – 地域分散の進展 –

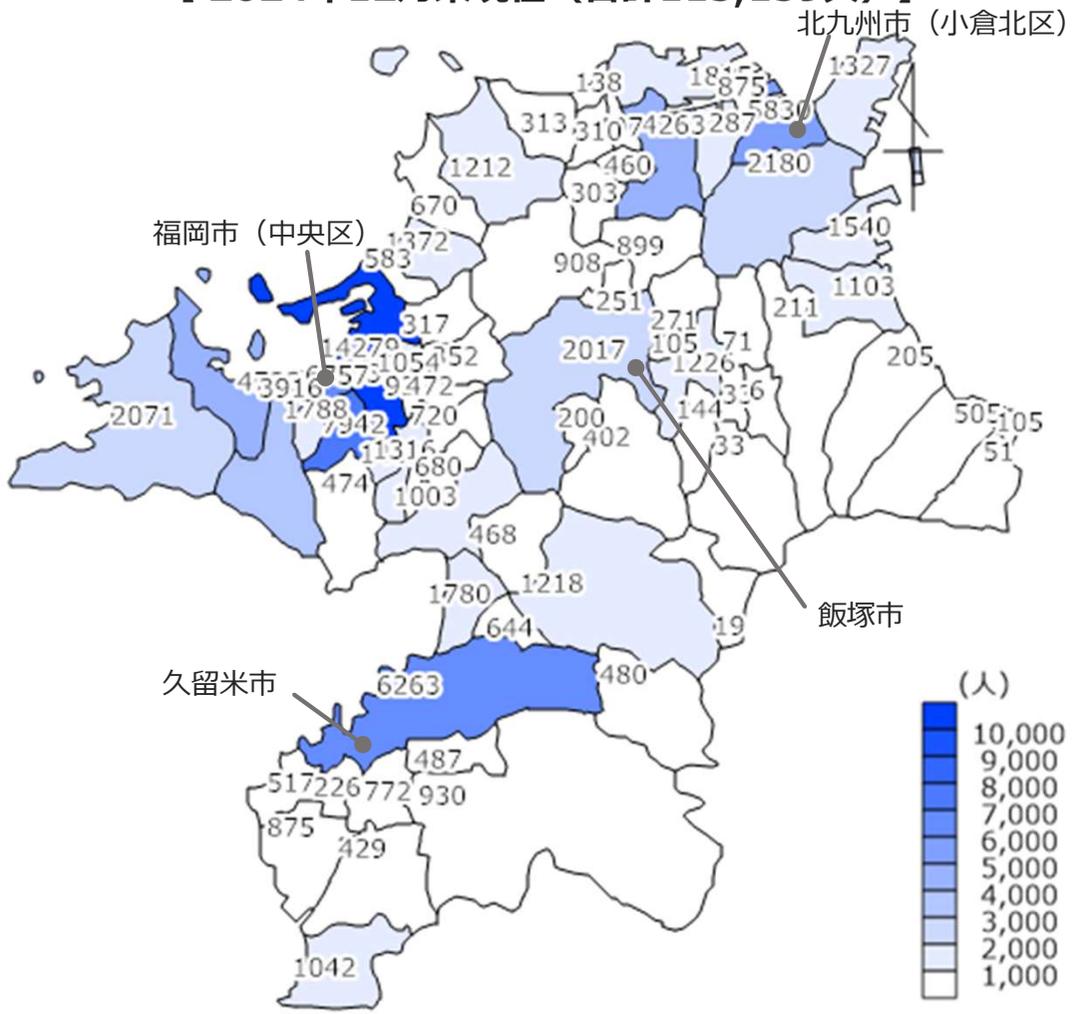
福岡市や北九州市等の都市圏以外の地域への在留外国人の分散居住が進展。

## 市区町村別在留外国人数の状況

【 2019年12月末現在 (合計83,468人) 】



【 2024年12月末現在 (合計113,159人) 】



(出所：出入国在留管理庁「在留外国人統計」を参照し地図ソフトを用いて当センターが作成)

